



# 9月 園だより

令和5年9月1日（金）  
尚徳福祉会 井荻保育園

夏の終わりですが、「異常気象」で始まった今年の猛暑。これまでの記録をことごとく更新してくれました。最高気温が37度になったり、熱中症警戒アラートが長く発令したりしました。そして、大雨洪水、浸水、猛暑、酷暑等日本列島に大きな爪痕を残しました。台風も発生してお盆休みにも影響がでました。この間杉並区より、熱中症の予防に関して何回か注意喚起がきていまして、熱中症予防に関して、水分補給、遮光ネットでの対応をしていく事で調整をしていく事を伝えられています。環境省の熱中症警戒アラートを参考にして、それぞれの園での判断で子どもたちは、体が小さく気温に大きく左右されますので十分に気を付けて水遊びをしてきました。「地球温暖化」の影響がここまで出てきたのかと驚きます。

🌻🌻🌻 「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」につながる取り組み 🌻🌻🌻

園内では、幼児が夢中になって遊ぶ中で、体を動かす楽しさや心地よさを十分に感じながら多様な動きを獲得していくことを目指し、運動遊びを通して子どもの様々な動きを引き出すための援助や環境構成の工夫について考えています。クラス会議では、クラスの子どもの実態を踏まえて興味をとらえ、いろいろな遊びと運動遊びとのつながりを考えながら環境を設定し、「やってみたい」という気持ちで自分から体を動かして遊ぶことを目指しています。その保育の根底には、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点から捉えて子どもの姿に対する援助があり、5歳だけでなく3歳児、4歳児、それぞれの学年において、幼児が発達していく方向を意識しながら、発達段階を踏まえた保育実践について深めています。運動遊びの中で育んでいきたい資質能力を考えていきます。今年は、コロナ明けという事で水遊びで乳児は、色水あそび、寒天あそび、水風船。幼児水遊びは、ダイナミックに水へのつながりの豊かさとして水鉄砲で射的ゲームや、船を浮かべて「こんなに大きい船を作ったら、こんなに乗っかる」と目を輝かせて自分で考えて挑戦している様子でした。思いっきり水の掛け合いで発散。水に関わる様々な活動にも興味を持てるようにと願い、様々な工夫をしている保育者たちでした。

## 9月の予定

- 11日（月）身体測定（幼児）
- 12日（火）身体測定（乳児）  
4, 5バイキング給食
- 19日（火）大原さん
- 21日（木）おばさんず
- 22日（金）避難訓練（引き取り訓練）



## 9月22日（金）引き渡し訓練について

9月は防災訓練です。災害への備えと自立に向けて、保護者と保育者が「防災意識」を共有する貴重な訓練です。今年は、**9月22日（金）に引き渡し訓練を予定しています。**訓練時、災害時子ども安全連絡網「すぐメール」を配信します。お迎え時間はいつも通りでかまいませんが、お迎えの際、園児引き渡しカード（オレンジカード）をご持参ください。  
詳細は後日、お手紙配布して別途お知らせ致します。

## 主任のひとりごと

保育者として乳児クラスに入っていると、子どもの成長によって部屋がどんどん狭くなっていくような感覚を覚えます。子どもたちは大きくなるたびに出来ることが増え、高い所に登りたくなったり、重い物を動かしたくなったりして、興味が広がり動きがダイナミックになります。子どもの「やりたい」という思いを汲んで、保育者は遊びにつながるよう、日々環境を見直すなど工夫をしています。